

福井映画祭とは？

福井映画祭は2006年から始まり、おかげさまで、第13回を迎えることができました。コンペティション部門では297作品のご応募をいただき、その中から選ばれた14作品を上映します。それを観ていただいたお客様の投票によってグランプリが決まります。日曜午前はアニメーション部門の一挙上映があり、お子様連れでもお楽しみいただけると思います。各日の最後には国内外で話題の作品を招待作品として上映します。また各作品の監督や出演者が多数来場し、作品についての話を聞くことも出来ます。若手映画作家による「さまざまな現在」を感じ、映画を深く味わい、映画祭を楽しんで頂ければ幸いです。皆様のご来場を心よりお待ちしております。



Fukui Film Festival 13th

11.30^土 2019 Time Table

12:30	開場
13:00	オープニング
13:10	「ユートピア」 長編103分
15:00	休憩(15分)
15:15	「メカニカル・テレパシー」 長編78分
16:40	休憩(15分)
16:55	「来夢來人」 短編36分
17:35	「春」 短編27分
18:10	休憩(20分)入替入場
18:40	特別企画上映(別途料金)「典座-TENZO-」 長編62分
20:20	終演

会場：メトロ劇場 fukuimetrotheater.jp



メトロ劇場

交通アクセス

〒910-0023 福井市順化1-2-14
メトロ会館4F TEL.0776-22-1772
・JR福井駅から西へ徒歩7分
・福武線 市役所前駅から徒歩3分
・お車でお越しの方は、近くの有料駐車場をご利用ください。

■主催：福井映画祭実行委員会 ■後援：福井県

■広告協賛：まき乃呉服店、益茂証券 株式会社、opt duo inc.、ふーぼ、ケアン、猿の棲む森、江戸寿し丸岡店、
映像lab Q-EDIT 合同会社、越前あわら温泉 長谷川、あわら温泉 みのや泰平閣、あわら湯けむり映画祭、
たんなんFM おおきんの歌、粋美苑 ほりえ、有限会社 丹羽かじや、勇寿司、株式会社 寺田プラスチック、株式会社 特機サービス、
空中BOOKS、居酒屋マルクチ、SEWI、株式会社 烏山楽器、田中光敏事務所 わにぶちたつこ、月刊fu編集長 堀一心
(敬称略)

12.1^日 2019 Time Table

10:30	開場
11:00	オープニング
11:05	「うめぼしバトロール」 アニメ4分
11:11	「雲梯」 アニメ4分
11:18	「THE VISION」 アニメ5分
11:25	「たらら」 アニメ5分
11:32	「最後の森 はじまりの人」 アニメ15分
11:49	「MOWB」 アニメ13分
12:04	昼休憩(56分)
13:00	「お引っ越し」 短編19分
13:25	「8150」 短編20分
13:50	休憩(15分)
14:05	「ビューティフル、グッバイ」 長編113分
16:05	休憩(15分)
16:20	「≠」 長編65分
17:30	最終投票・休憩(30分)
18:00	招待上映クロージング作品「共想」 長編76分
19:35	表彰式・エンディング
19:50	終演

お得な前売チケット発売中!!

当日1日券 1,500円

前売1日券 1,300円

前売2日券 2,000円

高校生以下
入場
無料

- チケット購入 メトロ劇場
- チケット予約 ticket@fukuirfilmfestival.jp
- お問い合わせ mail@fukuirfilmfestival.jp

福井映画祭

11.30^土 - 12.1^日

メトロ劇場

福井市順化1-2-14
メトロ会館4F

当日1日券 1,500円
前売1日券 1,300円
前売2日券 2,000円

高校生以下
入場
無料

チケット購入 メトロ劇場
チケット予約 ticket@fukuirfilmfestival.jp
お問い合わせ mail@fukuirfilmfestival.jp

Fukui Film Festival 13th



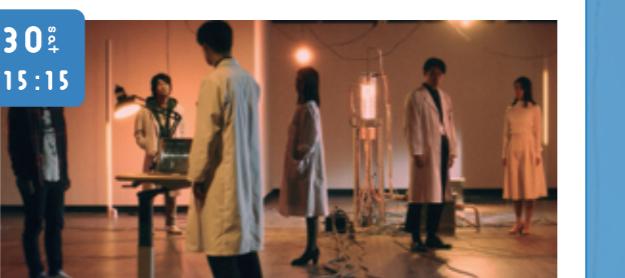
11.30
午後

[短編・長編部門] 上映作品ラインナップ

**「ユートピア」**

監督: 伊藤 峻太 Shunta Ito

夏の日の朝、まみが目を覚ますと二段ベッドの上に見知らぬ少女が倒れていた。外には雪が降っている。聞いたこともない言葉を話し、軽やかに笑うその少女に、まみは不思議と惹かれていく。この子のいた世界は“ユートピア”なのではないかと、まみは憧れるようになる。一方、東京の街では子ども達が静かに姿を消していく。ライフラインの途絶した東京で、少しずつ何かが起きようとしている。

**「メカニカル・テレパシー」**

監督: 五十嵐 啓子 Akiko Igarashi

『心を可視化する機械』の実験で発生した事故。調査名目で「実験中止」と言い渡しに研究室へ潜入した真崎は、事故で意識を失った開発者の妻・碧に心を奪われる。しかし、眠り続ける開発者と碧の心を繋ぐためには、実験の成功しか道がないことを知る…。具象化された人間の心は、実体としての人間と同じなのか。SF的な背景で、見えない心を可視化してしまった研究者たちの関係、その愛と不信までを引き出す人間ドラマ。

**「来夢来人」** ライムライト

監督: 若葉 竜也 Ryuya Wakaba

俳優という夢を諦め、運送のアルバイトとして働く健二是、3年間付き合った彼女のハルミと別れ、同棲していた家に残りの荷物を取りに行くことになつたが、予定よりも早く家に着いてしまった健二是、新しい彼氏の裕二と2人きりになってしまふ。不意に訪れた日常の地獄。

**「春」**

監督: 大森 歩 Ayumi Omori

祖父の家に居候をする、美大生のアミ。大人になるアミとは反対に、どんどんボケていき、子供返りするおじいさん。やがて、二人の感受性が重なる。



特別企画上映

「サウダーチ」「パンコクナイツ」に続く空族・富田監督の最新作。テーマは仏教とそれを取り巻く3.11以降の日本のすがた。第72回カンヌ国際映画祭の批評家週間「特別招待部門」にも選出された話題作!

「典座 -TENZO-」

監督: 富田 克也 Katsuya Tomita

10年前、本山での修行期間を終えた兄弟子の隆行(リュウギヨウ)と弟弟子の智賢(チケン)は、自ら生まれた寺へとそれぞれ戻つていった。富士山の裾野に広がる山梨県都留市、耕雲院。智賢は、住職である父と、母、妻、そして重度の食物アレルギーを抱える3歳の息子と共に暮らしている。全国曹洞宗青年会議長としての顔も持ち、いのちの電話相談、精進料理教室やヨガ坐禅など、意欲的な活動を続けている。一方の兄弟子、隆行は福島県沿岸部にあつたかつてのお寺も、家族も檜家も、すべてを津波によって流されてしまった。今では瓦礫撤去の作業員として、ひとり仮設住宅に住まいながら本堂再建を諂ひきれずにいた。

[別途料金]
当日 1,500円前売り券 or
映画祭チケット
提示で
1,300円12.1
午前

[アニメ部門] 上映作品ラインナップ

**「うめぼしパトロール」**

監督: ささ さえり Eri Sasaki

とことこでくつく。あそでいつもの犬が吠えている。あ、猫かと思ったらビニール袋だ。おじさんがなんだかすごい笑っていた。この街のことはよく知つているけど、知らないことだらけだ。

**「雲梯」** ウンテイ

監督: 川上 喜朗 Yoshiro Kawakami

お盆になった。みんな故郷へ帰つていく。日差し照りつける真夏の団地で、一人取り残された男の子がいた。

**「THE VISION」**

監督: 菅 祐輔 Yusuke Kan 長野 翔 Sho Nagano

目のない主人公スティーブは、自分の生きている世界が本当はどのようなもののかを見てみたいと思いつつ、日々毎々と過ごしている。彼の唯一の友人、サムはスティーブのために不思議な力で無機質な部屋を変化させせるが、スティーブはその架空の世界には満足できず、より目が欲しいという思いが強くなっていく…。

**「たらら」**

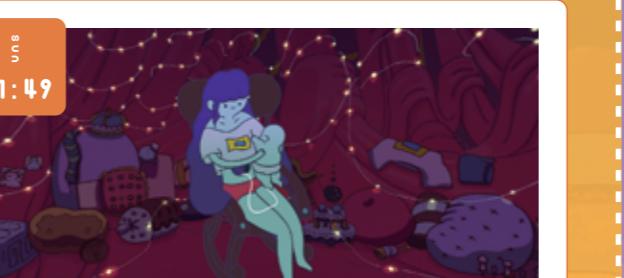
監督: 滝澤 弘志 Hiroshi Takizawa

未亡人のやるせない日々のお話。
(歌詞) らつたつらつたつたつたつと 空へ 鐘の音響いたら また明日ねの約束でうちへ帰ろう らーたらつたー たらつたー 手を繋ごう
らつたつらつたつたつたつと 早く 明日になれと いつまでも僕らこうしていられたら らーたらつたー たらつたー 手を繋ごう

**「最後の森 はじまりの人」**

監督: 一瀬 啓コ Hiroko Ichinose 上甲 トモヨシ Tomoyoshi Joko

植物になり世界を支配したいアミヤという人間と不安や葛藤を抱えながらも元気に生きるサト、ユキ、ミツルの3人の子供たちの物語。アミヤは眼には見えない負のエネルギーから培養した植物を体に取り入れ変身する。サト、ユキ、ミツルとの出会いで運命が変わる。

**「MOWB」** モウ

監督: 油原 和記 Kazuki Yuhara

母の胎内で紡がれる、親子の物語。へその緒で繋がつた親子は、深い愛情で結ばれている。私たちは、へその緒に導かれるままに、親子の無限の命の連鎖を目撃することになる。

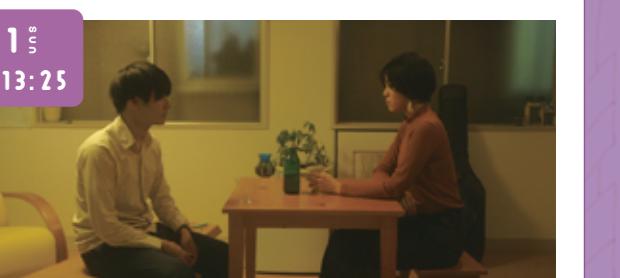
12.1
午後

[短編・長編部門] 上映作品ラインナップ

**「お引っ越し」**

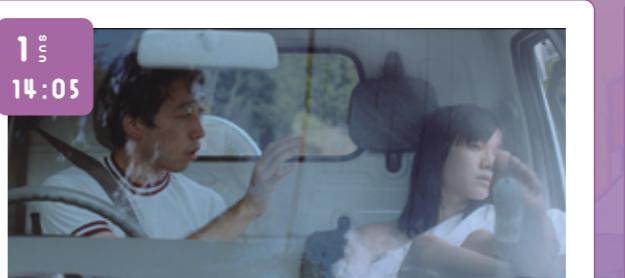
監督: 堀内 浩一 Kouichi Horiuchi

不動産会社の野口と北町は、家賃滞納が続く訳アリ物件に「強制引っ越し」の為訪れる。対立しながらも作業を続けていた2人は、住人の不審な不在に気づく…。

**「8150」** ハイチゴーゼロ

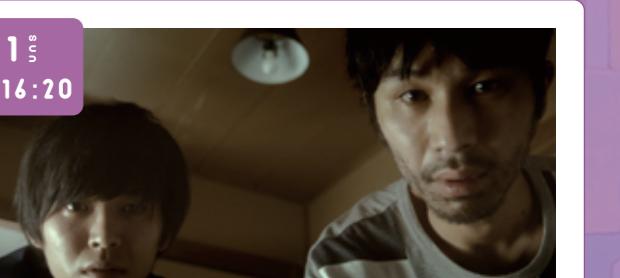
監督: 松本 大志 Daishi Matsumoto

終電を逃した勇太郎は友人の啓介の部屋へ向かう。合鍵を使って部屋に入った勇太郎がくつろいでいると、啓介の恋人の歩美が帰つてくる。

**「ビューティフル、グッバイ」**

監督: 今村 瑛一 Eiichi Imamura

傷害事件を起こし逃亡中の小暮。恋人の身勝手な思いと適当な儀式で一度は失った命を蘇らせた夏子。そんな折、小暮の運転する軽トラが動ける死者となつた夏子をはねてしまい、二人は一緒に逃亡することに。夏子の恋人・篠田の追跡が迫る中、夏子の身体は死に蝕まれはじめる。逃げ行の果てに、二人が見たものとは…。

**「チ」** ノットイコール

監督: 十城 義弘 Yoshihiro Toushiro

小野寺一郎は弟の次郎、妻の洋子と同居している。夫婦の性生活はうまくいきずいつの間にか弟にも妻を抱かせている。そんな関係が日常化していたが、ふと三人で関係を持った夜、一郎は失踪してしまう。それから2年がたち、次郎はたまたま兄をラーメン屋で見つける。一郎が帰つてきてまた三人で暮らしか始めるが、微妙に立場の変わった三人にはズレがあり元の関係には戻れない。

招待上映
クロージング作品**「共想」**76分/長編ドラマ
Wish we were here

監督: 篠崎 誠 Makoto Shinozaki

東日本大震災の人々の心の変化を描く「あれから」「SHARING」に続く篠崎誠監督の最新作。第19回東京フィルメックス特別招待作品。前二作とも続いて福井映画祭で上映!